

センター月だより

9月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

・地区別指導活動

	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導件数	2	0	0	2
声かけ件数	628	85	156	869
指導参加者数	71	36	43	150

(指導日誌より)

瑞浪地区

- ・ 駅前のベンチに女子高校生が土足であがっていたので指導した。(瑞浪A)
- ・ 閉店後のメイト(スーパー)入口にいた6人の少年に、早めの帰宅を促した。閉店までカードゲームをやっていたようだ。(土岐C)
- ・ 9月1日(土)、駅前で自転車の中学生が4~5名集まっていた。髪の毛脱色、身なりも中学生とは思えなかった。(土岐D)
- ・ 急に小寒くなり、散歩の人さえ見かけなくなった。冬場は瑞浪市街地方面まで足を延ばそうと、皆で話し合った。(陶E)
- ・ 堤防道路にて、対向の自転車を避けるため待っていると、帰宅途中の男子高校生だった。頭を下げ御礼の挨拶をしてくれた。気持ちよく巡回ができた。(明世H)

土岐地区

- ・ 駅前の階段で高校生15人ほどが飲食していた。早めの帰宅を促した。普通の会話はできたが、すぐに帰る様子は見られなかった。喫煙はしていなかった。(土岐1)
- ・ 妻木川(神宮地区)で女子小学生3名が川遊びをしていた。深場に入らぬよう声をかけた。(下石2B)
- ・ 平成公園で中学生4人がゲームをしていた。「帰宅時間を考えてね。」と声をかけた。(下石2B)
- ・ 駅前で少年女子がたばこを持っていたので、吸わないように話した。(泉8)
- ・ パロー浅野店2Fゲームコーナーの店員によると、「小学生は5時になると自分から帰っていきます。」とのこと。(泉9)
- ・ 駅前に5時35分頃高校生がたくさんいた。45分頃には数名になっていた。(泉9)
- ・ 駅東駐輪場では放置自転車がかなりあり、通路わきにも止めてある。市からの撤去期日を書き込んだ紙がついている。中には防犯登録や高校のステッカーが付いていないものもある。(特)
- ・ 土岐商高生のあいさつおよびお礼の姿が良かった。(特)

多治見地区

- ・ 下校中の小学生児童に白線からはみ出して歩かないように指導した。小学生・中学生・高校生ともきちっとあいさつができ、気持ちよく指導できた。(養正1)
- ・ ピアゴ裏通りに塾帰りの小学生男子がいたので声かけした。(精華2)
- ・ せまい路地を自転車で走り抜ける中学生男子に、安全運転を心がけるよう声をかけた。快くあいさつをしてくれた。(共栄3)
- ・ 昭和小学校の「あいさつ運動」に協力、大声で元気よくあいさつができた。通学路(学校付近)の点検を行った。(昭和4)

- ・中学生男子2～3人が小泉公園でサッカー遊び。声かけすると大きな声で返答してくれた。(小泉5)
- ・19時半頃、駅北口公衆電話前に、少年男女20数名がたむろしていた。(市之倉7)
- ・ゲームコーナーの係の方に最近の子どもたちの様子を聞いたところ、以前と比べて問題行動は見られなくなったとのこと。巡回時は少人数の子どもしか見かけなかった。(南姫9)
- ・パロー・三洋堂・ダイソーの店員さんも、ベストを見ただけでこちらから挨拶する前に、にこやかに「どうぞ」と受け入れていただいた。(根本10)
- ・旭ヶ丘児童公園にて、少年男子5人のグループの中の1人が、たばこを吸っていた。注意したところ、素直に消した。ミニストップの店外に愛知県警の番号が入った自転車が放置してあった。車輪が曲がって使えない状態だった。とりあえず多治見警察署に電話するように店に伝えた。(北栄11)
- ・外で遊んでいる子どもたちは元気にあいさつを返してくれた。(脇之島12)

センターから・・・街頭指導活動を工夫しましょう・・・

10/5に第3回指導部役員会議を開きました。今回特に話題として取り上げたことは、これから日が短くなっていくので、街頭指導の実施方法を工夫し、子ども達に出会って「声かけ」する機会をいかに確保するかということでした。そのためにこれまで各班が工夫してきたことを発表していただきました。参考にさせていただきたいので紹介します。

なお、ここでセンターの街頭指導についての基本的な考え方を確認しておきます。

『街頭指導の目指すところは、巡回中に一人でも多くの子どもや若者に出会い、「声かけ」をすることで、地域の子もたちとの人間関係を作ること。そのことが、非行に走ろうとする少年を不良行為の段階で早期に発見し、適切な指導をするときの、礎(いしずえ)となると考えています。』

各班の工夫例

声かけの機会を増やすために、7名の班を2つのグループに別け、巡回日を変えてどちらのグループも16時30分から活動している。(下石2)

小中学校の下校時間に合わせて、16時とか17時に校門前で声かけを実施。その後は通学路を巡回。危険な通学路に同行し交通安全指導も兼ねている。(鶴里4・曾木5・滝呂8)

巡回のエリアを地域の小・中学校区にこだわらず、時によっては市街地の駅周辺にも広げる。(陶E)

小学校の下校時間にあわせて16時に集合。交番や学校と情報交換している。(脇之島12)

土曜日の14時に集合。学校は休みなので、地区の公民館や児童館に集まっている小中学生に声かけ。指導員の方には時間的に調整していただいている。(北栄11)

池田の平和中学生徒が、必ず通る国長橋(土岐川)での声かけ。その後の巡回コースは毎回変えている。(池田6)

10人の班を毎回二つに分けて、一方は高校関係者2名(先生とPTA)、その学校のMSリーダーズの生徒たちによる、駅前での帰宅時間に合わせた声かけ活動。他方は高校生の帰宅路およびその途上にあるコンビニでの声かけ活動(多特14)

全員が揃う平日の活動は困難なので、土日の地域行事や学校行事に合わせて柔軟に指導の時間帯を変えている。(南姫9)

小ざれがいい

家や学校などの建物は、新しければきれいに決まっています。それは、建物そのものが持っている美しさです。

私は、小ざれがいいと思います。それは、人の手が加わった美しさであるからです。きちんと整って気持ちのいい感じがする様子、そして中から染み出てくるような美しさ、これを小ざれいい、といいます。

「生き方サプリメント101錠」 第2集より 多治見市教育長 村瀬 登志夫氏